

〔広島県〕

広島のご当地本「広島本大賞」

清水 保貴（次世代産業課 調査官）
shimizu-yasutaka@meti.go.jp
TEL 082-224-5680



広島のことを全国に発信されたり、広島出身の方が活躍されたりすると、広島人としては大変うれしいものです。今回は、広島にゆかりのある作者や作品の本を全国に発信していく取組である、「広島本大賞」と、その受賞作品をご紹介します。

「広島本大賞」は、広島の書店員とタウン誌出版4社が、広島の魅力溢れる本を選定し、発信する取組みで、広島の書店員が会社の枠を超えて企画、運営しています。選定に際しては、facebook や twitter などを活用し、一般読者による投票も行われています。

2011年に第1回広島本大賞を選定し、以後、毎年1回ずつ選定・表彰し、今年の3月に、第4回目の広島本大賞の発表がありました。今回の受賞作は、次の2作品です。

● 小説部門

・ 小山田浩子『工場』（新潮社）

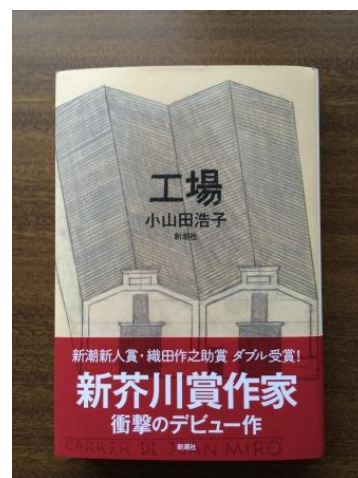
● その他部門

・ 南方延宣『キリマンジャロ』（広島市安佐動物公園）

小説部門の受賞作『工場』の作者である小山田浩子さんは、『穴』で第150回芥川賞を受賞し、話題になった方ですので、皆さんの記憶にも新しいと思います。小山田さんは、広島で生まれ育ち、今も広島市に住んでおられます。

『工場』は、何を作っているのか分からないほど巨大な工場での不可思議な日々を、3人の労働者がそれぞれに語る表題作のほか、熱帯魚飼育に没頭する大金持ちの息子とその若い妻を描く『ディスカス忌』、心身の失調の末に様々な虫を幻視する女性会社員の物語『いこぼれむし』の三篇を収録しています。いずれも、働くこと、生きることの不安と不条理を、とてつもなく奇妙な想像力で乗り越える作品です。

表題作の『工場』の作中には、巨大工場の中のたくさんの労働者（正社員、派遣社員、パートさんなど）が登場していて、女性社員同士のトイレでの会話など、個性的な女性の



描写が妙にリアルです。著者の実際の経験からの描写だと思いますが、登場人物の中で誰が一番著者に近いのだろう、などと考えながら、一気に読んでしまいました。

その他部門の受賞作『キリマンじゃろ』は、広島市内にある安佐動物公園で飼育員をされている南方延宣さんの作品です。

この作品は、南方さんが作成し、広島市安佐動物公園の各動物舎前で動物解説マンガとして展示されていたものを、書籍化したものです。「キリンのマンガじゃろ」を略して、アフリカの有名な山の名前をもじって『キリマンじゃろ』だそうです（笑）。作品には、キリンのほか、南方さんが飼育を担当されているダチョウ、サンバーの解説マンガも掲載されています。また、安佐動物公園の入園チケットに描かれている「ASA ZOO 熟語シリーズ」という3コママンガもおまけとして収録されています。子供といっしょに動物のことを楽しく学べる、非常にユーモラスな作品です。



我が子がもう少し大きくなったら、いっしょに読んで、安佐動物公園にいっしょに行きたいな、と思いました。

ちなみに、「広島本大賞」の今回のノミネート作品は次のとおりです。

★ 小説部門

- ・ 小山田浩子『工場』（新潮社）
- ・ 島田荘司『星籠の海』（講談社）
- ・ 湊かなえ『望郷』（文藝春秋）
- ・ 和田竜『村上海賊の娘』（新潮社）

★ その他部門

- ・ 尾崎あきら『太田川純情ラバーズ』（集英社）
- ・ 西島大介『All those moments will be lost in time』（早川書房）
- ・ 南方延宣『キリマンじゃろ』（広島市安佐動物公園）
- ・ 広島市文化協会『占領期の出版メディアと検閲（プレスコード）』（勉誠出版）
- ・ ウラモトユウコ『椿荘101号室』（マッグガーデン）
- ・ 新久千映『ワカコ酒』（徳間書店）

和田竜さんの『村上海賊の娘』は、戦国時代に織田氏と毛利氏との間に起こった第一次木津川合戦の史実をもとに、瀬戸内海の家賊衆の活躍を描いた歴史小説で、全国の書店員が最も売りたい本を選ぶ「本屋大賞2014」の大賞を受賞しています。こちらも、今度は是非読んでみたいと思います。

読む本を選ぶ手段はたくさんありますが、地元ゆかりのある作品を読んで地元のことをより一層知ったり、地元出身の作家を応援したり、といった楽しみ方もいいのではと思います。紹介させて頂きました。「広島本大賞」のfacebookでは、「広島本大賞」のノミネート作品や受賞作品の他にも、広島ゆかりのある作者や作品が紹介されていますので、興味のある方はご覧下さい。

facebook



<参考>

- ・ 広島本大賞 facebook サイト
<https://www.facebook.com/hiroshimabontaisho?fref=ts>
- ・ 『工場』 小山田浩子
- ・ 『キリマンじゃろ』 南方延宣
- ・ 広島市役所 2013年3月22日報道発表資料
安佐動物公園の飼育係によるコミック本・第2弾！「キリマンじゃろ」販売開始（安佐動物公園）
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/000000000000/1363915117354/>